

観測(天文・地物)科学とデータ

- データをめぐる本日の話題
 - 大量データ: (クラウド的)大規模計算機資源
 - バーチャル天文台
 - 超高層大気科学: メタデータ整備と機関間NW
 - 識別子、メタデータから学際研究
- 科学データの特質
 - 継続的観測(地球観測系は多い?)
 - 時系列データ(データレコードは時刻ごとに記録)
 - 同時刻同条件のデータは再取得不可能
 - ファクトデータ
 - (生)データから生産されるデータ=新たなデータ

データジャーナルと 観測科学データ統合

- ジャーナル (journal; , ← diurnal)
 - 定期的刊行物、日誌
 - 定期刊行される科学論文誌
 - データを刊行？
 - データとともに刊行？
- データパブリケーション
 - パブリケーション: 文書を固定して書籍化
 - データを公的資産として固定するには？
 - データサイテーション

データパブリケーション、データ・サイテーションとは？

■ データパブリケーション

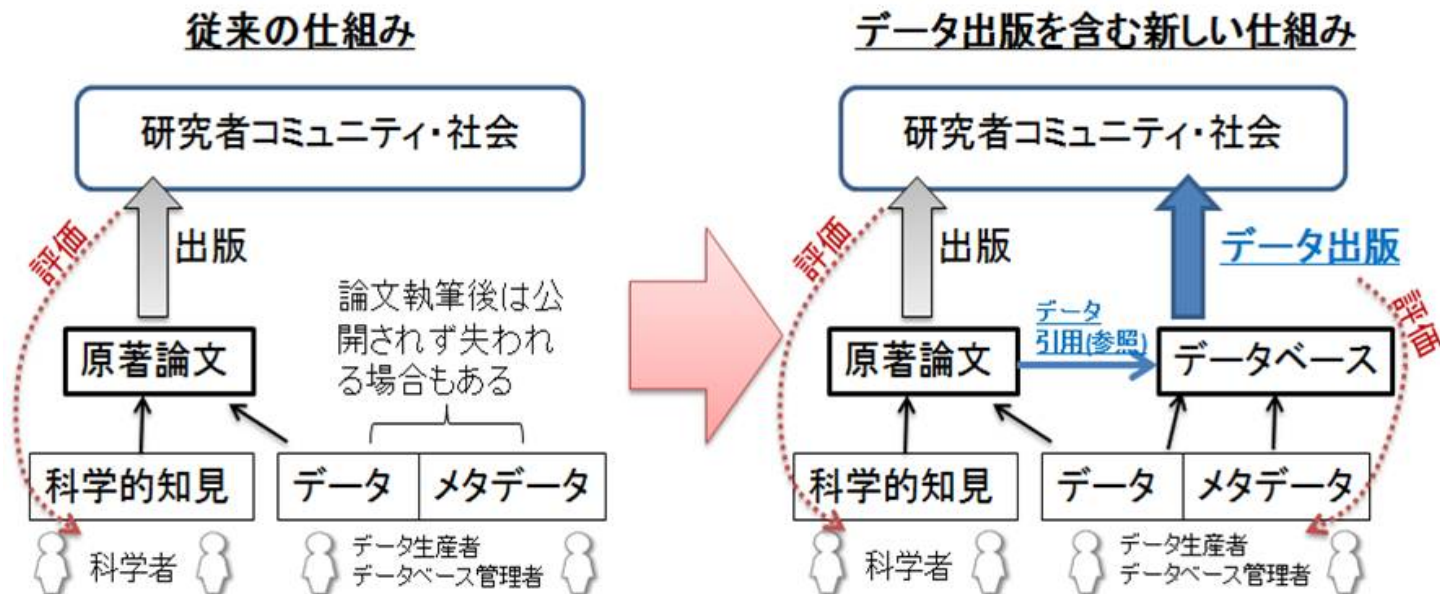
- データを「出版」する仕組み:
- 課題: データの「査読」「固定」「公表」等をどうするか。

■ データサイテーション

- データを文献のように「引用」「参照」する仕組み
- 課題: ID標準化、引用ルール確立、評価手法など国際団体等で模索中

データを引用・参照すると

- 論文・書籍は知的生産力の基準⇒研究職・教育職の採択評価にも。
- 信頼できるデータ生成・提供は現代では科学者の仕事。←評価



(参考) データサイテーションの活用施策例

Building a Culture of Data Citation



出典「ands(※)」サイト

※オーストラリアの研究データ活用促進プログラム

<http://www.ands.org.au/cite-data/index.html>